

STAND UP!

うちなだ議会だより Vol.103
平成22年10月26日

交付税等が大幅アップ

委員会レポート	2
議会タウンミーティング	4
一般質問 -11人が登壇-	7
ありゃ～どうなったがいね～	8
突撃！街かどインタビュー 高畠三郎さん (アカシア)	19
	20

「夢」から「目標」へ 金メダリスト 北島康介選手が来た！



「コカ・コーラ未来への夢はじめよう」プロジェクト (鶴ヶ丘小学校)

発行 石川県内灘町議会



2,534万円の大増



白帆台住宅展



主な内容

平成22年第3回定例会が開催され、補正予算8件のほか、条例4件、道路線の認定など14件の議案を審議し、すべて原案のとおり可決しました。一般会計では、5530万円を追加し、総額は81億1901万円となりました。また、教育委員1名の任命に同意しました。以下、主な内容を紹介いたします。

予算

歳入の増

普通交付税で対前年度より1億5700万円、臨時財政対策債（交付税の代替財源）で1億6800万円の増となりました。これは交付税等の算定方式が見直されたことが大きな要因ですが、この方式は今年度に限られた措置です。これにより、町の財政調整基金（貯金）から約2億円が取り崩す必要がなくなりました。

安心子ども基金

840万円

各保育所に絵本やDVD、本棚、スクリーンを購入
690万円
保護者や地域に向け情報の配信、提供などのネットワークシステムの委託（向粟崎・北部保育所・子育て支援センター）
150万円

消防設備の設置

1,234万8千円

町内グループホーム3カ所にスプリンクラーを設置

白帆台の土地取得

1,456万7千円

北部地区土地区画整理組合の解散に伴い、最大3筆の土地を取得

平成22年度 一般会計 補正予算

交付税等があっ 昨年度より 3億



総合体育館のスタジオ

浅電の踏み切り工事

1,000万円

北鉄浅野川線 内灘駅近辺の踏み切り内での、レール破断等修繕工事委託料

定住促進の奨励金

1,200万円

白帆台等申請件数の増加による、12月末までの追加



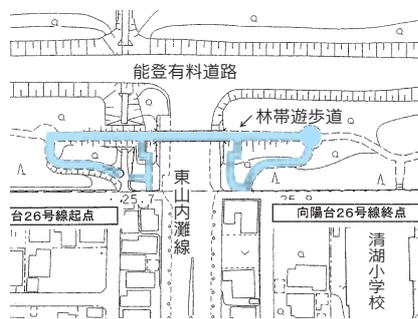
区分	単位	金額
一般 (個人)	2 時間	200 円
高校生以下 (個人)	2 時間	100 円
団体	2 時間	1,000 円

(平成 22 年 10 月 1 日から)

- 条例 (全員賛成)
- 行政財産使用料条例の改正
 - 図書館協議会条例の改正
 - 火災予防条例の改正
 - 条文中の表記改正
 - 体育施設条例の改正
- 総合体育館内に設置されるスタジオ利用料金の設定

条例

(全員賛成)



道路線の認定
補助の対象とするため、東山線にかかる向陽台の横断陸橋を認定する。

認定

(全員賛成)



教育委員

菅原 総子 氏

(新任・千鳥台)

人事案件

(全員賛成)

特別会計

(全員賛成)

公共下水道事業

3 億 1 2 万 8 千 円を追加し、総額を 11 億 9 3 1 2 万 8 千 円としました。

国民健康保険

8 5 2 万 4 千 円を追加し、総額を 27 億 7 1 万 6 千 円としました。

老人保健

2 4 9 万 2 千 円を追加し、総額を 2 5 0 万 7 千 円としました。

後期高齢者医療

5 5 万 9 千 円を追加し、総額を 1 億 9 2 3 5 万 9 千 円としました。

介護保険

2 4 5 万 3 千 円を追加し、総額を 1 億 1 5 5 万 3 千 円としました。

水道事業会計

6 7 6 万 7 千 円を追加し、総額を 7 億 1 9 3 3 万 7 千 円としました。

21年度の事業成果を審査



決算特別委員会を

設置

平成21年度の一般会計・各特別会計8件の決算を審議するため、7人の委員による決算特別委員会を設置しました。

審議は数回にわたり行ない、12月議会で経過と結果を報告します。

次回の議会日より（第104号）でお知らせします。

委員長	南 守雄
副委員長	北川 悦子
委員	八田外茂男
〃	渡辺 旺
〃	清水 文雄
〃	藤井 良信
〃	南 和彦

総務常任委員会

委員会レポート

Q ふるさと寄付金の件数が少ない。周知方法はどうしているのか。

A 町のホームページでの掲載、東京県人会や金沢医科大学へ直接お願いに行っている。寄付金のお礼として、地場産の品物や帰郷した際に使用できる利用券等を検討しており、更にPRに努めたい。

Q まちづくり交付金をはじめ、各交付金及び各事業補助金が社会资本整備総合交付金と名称変更になったが、地方分権へ向けての一括交付金の一環なのか。

A 今回の名称の変更は、多岐にわたっている多様な交付金や補助金をまとめたもので、一括交付金とは異なる。

Q 今政府が検討している一括交付金が交付された場合、これまでの補助金事業よりも運用がしやすく、町にとっても使い勝手の良い交付金となるのか。

A 一括交付金の具体的な交付要項は確定しておらず、柔軟な弾力

運用が可能なかどうかは未定である。

Q 火災警報器の設置率が100%に近い地区があるということだが、どの地区か。

A 西荒屋地区では区から助成を行っており、100%に近い。千島台地区でも非常に高い設置率となっている。



大根布小学校で行なわれた防災訓練

文教福祉常任委員会

Q いしかわ子育て支援施設等活動充実費補助金で、購入した図書や備品は、公立から民営化する保育園に移動するののか。

A 備品や図書等が重ならないように購入し、民営化後も継続運営される町立保育所で使用したい。

Q 各保育所が民営化へと進んでいく中、残る町立保育所は、民営保育園を牽引していく役割を担って欲しい。

A 向粟崎保育所を町の基幹保育所として先進保育を行なう予定であり、民間保育園の模範となる保育体制を目指す。

Q 体育施設の予約を、インターネットでもできるようにならないか。

A 体育施設全体の料金体系の見直しが進んだ時点で、便利な利用方法を考えたい。

Q 情報配信システムで、離れた暮らす方が見ることができるよう、保育所内の様子を動画で配信できないか。

A 現在考えているのは、携帯電話用のホームページと、地域向け情報配信システムで、今後予算も含め検討したい。



リニューアルした総合体育館

産業建設常任委員会

Q 向粟崎1丁目地区浸水対策の早期着手を図れ。

A 今年度、測量調査を実施し、現地盤高と大野川水位の関係及び嵩上げ方法も含め調査・検討を行ない、早急に石川県（港湾・河川）と協議し、出来ることから着手していく。

Q 鶴ヶ丘3丁目松林の伐採だが、松林を少しでも残すことはできないか。

A 伐採は、3年計画の2年目となる。本年度伐採後の状況を地元町会に見てもらい、3年目の伐採方法を相談する。

Q 企業誘致に活用するDVDの作成は、どのようなものをつくり、どう利用するののか。

A 企業誘致においては交通アクセスが非常に重要になるため、道路状況及び誘致候補地の景観等を、DVDにより企業立地出店業者に対し、町の魅力及び立地状況をアピールし、誘致活動に役立てていく。



緑台地区の石綿管更新事業

Q 水道施設の耐震計画と、緑台地区の石綿セメント管更新工事の完了は。

A 水道供給源で重要施設の大根布配水池を、耐震診断により現状を把握し、改修計画を立てる予定だ。また緑台地区での更新工事は、来年度完了を目指したい。

意見書を採択

提出先

内閣総理大臣、厚生労働大臣、財務大臣、参議院議長、衆議院議長

提出



提出先

内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、参議院議長、衆議院議長

提出

採択

国民健康保険に対する 国庫負担の見直し・増額を 国に求める意見書

2回目 (全員賛成)

提出議員 北川 悦子

賛成議員 夷藤 満、藤井 良信、
恩道 正博

趣 旨

1. 国民健康保険への国庫負担を1984年以前の「かかった医療費の45%」に戻すこと。
2. 国民健康保険の事務費負担金の国庫補助を元の10/10に戻すこと。
3. 国民健康保険の保険料軽減負担金の国庫補助を元の10/10に戻すこと。

採択

議会議案 教育予算の拡充を求める意見書

(全員賛成)

提出議員 清水 文雄

賛成議員 藤井 良信、夷藤 満、
恩道 正博

趣 旨

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みの30人以下学級とすること。
2. 子どもと向き合える時間の確保ができるよう、教職員の定数改善や事務負担の軽減を行うこと。
3. 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の拡充を図ること。

OECDとは

経済協力開発機構の略で、先進国間の自由な意見交換、情報交換を通じて、経済成長、貿易の自由化、途上国の支援に貢献することを目的としている。

審査しましたあなたの請願

■ 継続審査

EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTAの推進に反対する

4回目

(継続に賛成14人、反対1人)

介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める

3回目

(継続に全員賛成)

町会・区長会と意見交換

「タウンミーティング」を開催

9月28日に「第1回タウンミーティング」を開催し、町会・区長会と町の当初予算や各事業、議会改革などについて意見交換しました。

このタウンミーティングは、

の1つとして、町民へ議会の役割と活動内容への理解を深め、町民と議会が一体となり町づくりを進めるために開催したものです。

初回の今回は各区長・町会長の皆さんと二時間余りにわたり、活発な意見交換がなされました。



議会・全員協議会室で開催されたタウンミーティング

議会では、今後も各種団体との実施を計画しています。なお、議会タウンミーティングの主な内容は、ホームページ【議会】に掲載を予定しています。



9月議会傍聴者アンケート結果

九月議会でも傍聴者の皆様にアンケートを実施しました。いただいたご意見を参考に、今後もわかりやすく、開かれた議会を求めていきます。

●質問形式のわかりやすさ
①一問一答 25人 (66%)
【意見】

アンケートの回答 (38人)

性別

男性 28人
女性 10人

年代

20～30歳代 各1人
40歳代 5人
50歳代 2人
60歳代 16人
70歳代 12人
80歳代以上 1人

傍聴の形態

個人 28人
団体 6人
(団体名 町会区長会)

議会の傍聴には

良く来る 18人
ときどき 15人
今回が初めて 5人

質問者の質問する位置は

①対面方式でよい 22人
②傍聴席に向かつての方が良い 3人
③どちらでも良い 5人

また傍聴したいですか

①次回もしたい 18人
②機会があればする 14人
③もうしたくない 0人



能村 憲治 議員

公共施設の耐震化工事を進めよ

優先順位を見極め事業を推進 町長

能村 公民館や児童館、町営住宅等、いまだ耐震調査すらされていない施設が多くある。災害時の指定避難場所になっているものもある。

建築基準法上、1981年以前の建築物を調査し、耐震化工事を進めよ。

町長 文化会館、公民館等は次年度以降で耐震診断が必要と認識している。また、消防庁舎は移転計画の中で行なう。

今後、国の補助制度を踏まえ優先順位を見きわめ、事業の推進を図る。



維持管理が大切な大型遊具

能村 公共施設の維持管理は、建築の技術職員を設けた営繕部署を立ち上げ、一括管理せよ。

総務部長 公共施設は、各担当課に管理させているが、全体を掌握できる仕組みを検討する。

学識経験者の

選考基準は

能村 各審議会の委員構成は、学識経験者、各種団体、関係行政機関を代表する者、そして公募からの選出となっている。

現在の構成は、審議内容に精通していると思えない所も見受けられる。

町として学識経験者の基準を設けているのか。

経験・資格を

勘案し制定

副町長 明確な基準はない。今後、各委員会、審議会の設置目的、役割等

確認し、職務経験や活動経験、さらに資格等を勘案し適切に選定するよう努めたい。

能村 1つの委員会で1割の公募者では発言がしにくい。できるだけ多くの公募委員を入れよ。

副町長 公募委員が1名の委員会が6つある。極力複数の参入に努める。

能村 あて職としての各種団体代表や、形だけの公募では、真の住民参加とは言えない。

副町長 委員の役割などを、広報を通じて住民に知らせ、多くの参加を促していく。

能村 公募委員候補を無作為抽出方法で選んではどうか。

消防長 アンケート調査では80%を超えており、設置率100%を目指し普及活動に努める。



渡辺 旺 議員

海岸の浸食対策を進めよ

県へ訴えていく 町長



西荒屋海岸の堤防を伸ばせ

渡辺 内灘砂丘は、かつて日本三大砂丘と言われ、白砂青松の豊かな自然に恵まれた海岸だ。

しかし、放水路以北では浸食が進んでいる。県は「浸食防止対策を整理検討中で、一日も早く砂浜の復旧を図る」との方針だが改善されていない。西荒屋の突堤を延ばすなど、浸食対策を進めよ。

町長 町は海岸保全期成同盟会とともに、これまでも要望してきた。県では、海岸浸食対策事業を、緊急かつ必要性に応じて優先的に整備しているが、限られた予算では限界がある。

町長 町は地域の皆様と連携をとり、県へ執拗に訴えていく。

渡辺 先人たちは村民総出で、飛砂防止のため、ニセアカシア、クロマツの共同植林を必死に行なった。そのクロマツの林域が狭められている。町では、昭和54年に町の木をクロマツに決めた。日本三大松原のように、クロマツを一つの区域に移す考えはないか。

クロマツ林で

散策を

渡辺 海岸条例の策定は、どこまで進んでいるのか。

副町長 緊急度、重要度ともに非常に高く、早い時期の制定を目指す。

渡辺 西荒屋の海岸に約50メートルの突堤工事をしたが、効果はあったか。

町長 浸食を防ぐ理論のもとで進められたが、潮流が一定しないため、一部に浸食が見られる。

植林と育成に

努める

都市整備部長 今後ともクロマツの植栽が行なわれていくよう、県に申し入れる。

なお、成長したクロマツの移植は、費用や移植後の活着等技術の面から難しい。クロマツ林の確保は、植栽とその育成に努め確保していく。

渡辺 クロマツは大木になると、その付近の住宅が大変な被害に遭う。

都市整備部長 伐採は、近隣の住宅への被害状況を勘案し対処していく。



大根布児童公園のクロマツ

都市整備部長 今後の作業は、地元町会と綿密に打ち合わせる。



南 和彦 議員

償還支払いから現物給付へ

受給システムを県に要望 町民福祉部長



医療費助成の申請手続きをなくせ

南 県の事業を受けた、本町の「乳児及び児童医療費助成事業」で、受給者が窓口で助成金を受け取る際、窓口へ出向くことができず受給を見送らざるを得ない場合がある。家庭の経済的負担軽減の観点からも、受給者への給付方法を現在の償還支払いから現物給付に変更するよう県に要望せよ。

町民福祉部長 受給者が、窓口で医療費助成申請が不要となるシステムには「現物給付方式」と「自動償還払い」方式がある。これらの制度を実施する場合、医療機関との連携や広域化などが必要となる。

受給者の利便性向上となるシステムを県に要望していく。

横断道路整備は 不可欠だ

南 県は、県内全域に周遊性のために南北方向の基幹道路整備と、併せて東西方向にも横断道路整備の必要性を明言している。

町は、基幹道路の沿線上に位置しないため、横断道路の基盤整備は北部地区の活性化策を具現化するためには不可欠と考えるが見解を示す。

具現化を 働きかける

町長 町が毎年県に提出する「要望書」では、「白帆台ICの建設」・「県道高松内灘線の拡幅改良」・「町道幹8号線宮坂西荒屋線拡幅改良」などが該当する。

これらを最重要事項として認識し、具現化を働きかけていく。



住宅建築が続く白帆台地区

南 更なる発展を目指すには、各周辺地域が共通認識を持ち、コア（核）拠点）決めが重要である。合性が見受けられない。要望根拠を一本化せよ。

町長 町としては北部地区における大型商業施設誘致をコアとして、県や近隣地域との連携や整合性を重視していく。

町長 近隣市町との連携を更に考慮して、要望根拠の一本化を行なう。

全国大会出場に補助を

スポーツのみならず前向きに検討

町長

多子家庭への

支援を研究

町民福祉部長 保育所民営化でゼロ歳児保育の充実が図られれば、減免対象世帯がふえると予測される。

対象年齢を小学校3年生までに拡大すると、町負担の大幅な増額が見込まれ、現段階では難しい。今後、国施策の動向を見きわめ、3人以上の子どもをもつ家庭への支援について研究したい。

保育料減免枠の

拡大を

生田 安心して産み、家族をふやすことのできるよう、在所児・在園児に兄弟・姉妹がいないと減免にならないという枠を見直すべきだ。

小学校3年生以下までとするなど年齢枠を広げ、2人目、3人目以降の子どもの保育料を減免し、少子化対策や出生率の向上を図るための環境を整えよ。

町民福祉部長 現状で年間約3700万円の保育料収入が減となり、町が負担する試算となる。

生田 小学生の全国大会出場において、町からは選手に5000円の激励金の給付のみである。交通費・宿泊費等の出場にかかる経費の補助はなく、その金額が大きな負担となっている。

町長 子育て支援ナンバーワンを標榜する当町として、次代を担う子供たちには夢を持ち、さまざまなことに挑戦をし、たくましく生きる力を養うことを願っている。

スポーツのみならず学術、文化などで県を代表して全国大会へ出場する子供たちやその指導者に対して、どのような助成が可能なのか、他の市町の事例も参考にしながら、前向きに検討する。



生田 勇人 議員



藤田慶二 君



川本瑞起 君(左)・松川拓馬 君(右)



水口 裕子議員

内灘闘争を全国へ発信せよ

町制50周年で平和事業を実施 町長

水口 町制施行50周年記念事業の中心に、内灘闘争と平和を全国へ発信せよ。

内灘闘争は、先人が我々に命がけで残してくれた大きな遺産。

町が発信できる、また発信すべきはこれをおいて他にない。

町長 内灘闘争は紛れもなく国民的な平和運動の一つ。村民の燃えるような郷土愛が受け継がれ、今日の内灘町を形づくっている。

町制50周年と内灘闘争60年はまさに不離一体と言ってよい。

町制50周年には、内灘闘争の意義を風化させないよう平和発信の町として事業を実施したい。

2年後は

内灘闘争60年

水口 普天間問題など、平和と基地問題という大きな視点から、内灘闘争の歴史的な重要性が再認識されてきていることは

大変意義深い。NHKの全国番組でも取り上げられ、町への来訪者がふえている。2年後は内灘闘争から60年。町はこのたまたかいかをどうとらえているか。

町民が誇りに

思えるたたかい

町長 内灘村民が生存権や生活権をかけて、「金は一年、土地は万年」のムシロ旗のもとに集まり、平和な暮らしを求めて当然と反対運動に立ち上がった。これは歴史的な意味を持つ基地反対闘争となり、平和の取り組みへの契機となった。

後世の内灘町民が誇りに思えるたたかいだった。

水口 試射場跡地を町の文化財に指定し、県の戦争遺跡に申請せよ。

町長 平和への象徴的な施設であり財務省の同意を得たい。町文化財保護審議会にはかり調査する。

水口 周辺環境を守るため、権現森を聖域として保存の対象にせよ。

町長 権現森の全体を含めて検討する。

水口 老人福祉タクシー利用助成制度を、状況に合わせて見直せ。

町民福祉部長 コミュニティバスも選択できる仕組みを検討する。

水口 給食は農産物の心配な小麦から、安全な地元米に変えるべきだ。

教育次長 米飯を2回ふやすと約10円値上げになる。厳しい経済状況だが、調査を行なう。

水口 日本のひとり親世帯の貧困率は世界最悪である。支援をやめるべきではない。

町民福祉部長 国の動向を見きわめながら、議論を重ねていく。

水口 情報公開制度の成熟に向けて、たゆまぬ勉強が必要だ。

町長 研修会等を開催し、情報公開に対する指導をさらに強化していく。

会議録公開の

原則的な基準

- ① 掲載項目
- ② 委員会等の目的
- ③ 開催日時
- ④ 出席委員及び説明員名
- ⑤ 議件名
- ⑥ 内容及び質疑応答
- ⑦ 次回開催予定
- ⑧ 添付資料
- ⑨ 委員名簿
- ⑩ 提出資料
- ⑪ 会議風景の写真



試射場跡地を文化財に指定せよ

中川議員から情報公開について関連質問がありました。



藤井 良信 議員

内灘町教育憲章の制定を

教育の充実が最重要 町長



町制施行 50 周年が待たれる

藤井 これからの子ども・若者たちが広く社会へ羽ばたいていったとき、どこにあっても内灘の「誇り」を受け継ぎ、その地の多くの人たちに自信をもって語っていただけるよう「内灘町教育憲章」の制定が望まれる。

町長 教育の充実が未来に代を担う子どもたちが創造性にあふれ、感性豊かな人間となるためにも、内灘町民にとって最重要の課題である。

質の高い教育の町を発信する手段として「教育憲章の制定」もその一つと考え、今後調査研究を進め前向きに検討する。

藤井 2012年町制施行50周年記念事業はどのように考えているか。

町長 特別な事業の開催を考えており、町の風景等を映像化（記録番組）する計画もある。

藤井 「若者の意識に関する調査報告書」を町はどう読み感じられたか。

教育長 児童生徒にコミュニケーション能力を身につけさせ社会に送り出す仕組みの構築が必要。

藤井 「子ども・若者ビジョン」の認識と課題は。

教育長 国策としての見地から、国・県における計画や施策との連携のもと、体系的に進める。

藤井 「シチズンシップ教育の推進」について町の考えは。

教育長 健全な社会の一員としての能力をはぐくむための教育である。

「学び合い」

教育の根幹は

藤井 「学び合い」の教育の根幹は、子どもたちが多様な人たちと折り合いをつけることであり、また学校は、みずからの課題を達成する経験を通して、多くの人が同僚であることを実感し学ぶ場である。

「学び合い」での実践教育、町の認識と取り組みへの考えを聞きたい。

より質の高い教育をめざす

教育長 子どもたちが折り合いをつけて学んでいく姿は、昨今の学校生活にはぜひ必要である。町の各学校では教え込み教育ではなく、意見を出し合い、課題解決に立ち向かっていく授業形態が多く行なわれている。より質の高い教育をめざして研究を重ね、学校教育を指導していきたい。

藤井 「若者の意見表明機会の確保」についての町の課題を示せ。

教育長 子ども権利条例の制定に向けた策定審議会の中で具体的に施策や課題を明確にしていく。

藤井 「23年度学校経営ビジョン」の課題と方針を示せ。

教育長 町としてリーダーシップを発揮し、校長や地域の声を大切に次代の要請に応えていく。

藤井 フューチャースクール推進事業での取り組み課題を示せ。

教育次長 ICT最新教育機器に振り回され、本来の学習がおろそかにならないよう見守りたい。



清水 文雄 議員

町長

「平和の町＝内灘」を 全国・世界へ発信せよ

非核自治協への加盟を検討



平和で住みよい町づくりを

清水 NHKのETV特集・シリーズ安保とその時代、第2回「改定への道」で、本土初の基地闘争と呼ばれた内灘闘争を取り上げ、内灘町を全国に発信した。

町長 町は、平和への思いを強くした歴史がある。平和都市宣言と宣言像の建立、非核平和都市宣言の看板等を掲げており、平和で住みよい町づくりへの努力と内外への呼びかけの継続が必要だ。今後、日本非核宣言自治体協議会への加盟に向けて検討する。

制度の切捨ては止めるべきだ

清水 これから見直し・検討される「ひとり親家庭等児童奨学金支給事業」と「ひとり親家庭医療費助成事業」は、まさに社会的に弱い立場にある町民のセーフティネットだ。町が他に誇れるすぐれた制度であり、切り捨てを行なうべきではない。

公平・公正に評価する

町長 私自身もそれら事業の現実については、きわめて大切な事業と考えている。しかし、多くの意見の中で公平・公正に評価し、その中で町の状況を決めていく。

清水 庁内行革推進本部と行政評価では、行革推進委員会の意見書をどのように取り扱うのか。

まちづくり政策部長 町民会議の取り組みや行政評価制度で、質的な改革を進めたい。

清水 その中に流れる「理念」＝社会的に弱い人たちの立場を守っていく視点をどう考えるか。

まちづくり政策部長 ひとり親の制度も、それ以外の福祉施策もすべて大切だと認識している。

清水 白帆台以北への大型商業施設などの誘致状況は。

都市整備部担当部長 出店候補地の一つとして、アウトレットモール運営会社と接触を続けている。

清水 誘致のメリットやデメリットを町民、町内外の商工関係者に説明し、コンセンサスが必要では。

都市整備部担当部長 ある程度その企業の進出にめどが立った段階で速やかに進めたい。

清水 専修学校の集約化、白帆台商業施設（中央部）の誘致の状況は。

都市整備部担当部長 専門学校との協議を重ねている。白帆台は土地利用も含め現在検討している。

清水 ほのぼの湯、福祉センター改築に伴うホテル等の誘致は。

都市整備部担当部長 今年12月議会には提示できるよう、現在、県の関係各課と協議を進めている。

清水 これら事業の優先順位は。

都市整備部担当部長 ほのぼの湯など町民生活に直結するような施設を計画的に進めていきたい。

清水 県内市町の多くが未策定である地域福祉計画は、いつまでに策定するのか。

副町長 遅くとも町制50周年に合わせ、平成24年中の策定に向け進めたい。

図書館を移転新築せよ

魅力度アップにきわめて有効

町長

川口 現在の図書館は、老朽化が激しく、薄暗く狭い印象がある。

町民の学習ニーズは情報化、国際化などの進展に伴い多様化、高度化している。

いつでもだれでも生涯を通じて学び続けることができるように、文教都市を目指す我が町でも、図書館を移転新築せよ。

町長 図書館は、幼児から高齢者まで町民の生涯にわたる学びを支援する

最高の生涯学習施設であると同時に、町民の“知”のよりどころが保障された町のあかしとして、ソフト面での高次な都市機能を印象づけるもの。

図書館の移転新築は、町の魅力度アップに大きな働きをするものだ。

川口 北部地区土地区画整理組合から購入した白帆台商業用地に図書館を移転新築してはどうか。

町長 住みよいまちづくりを実現するために、白帆台地区に移転新築することは有効な手段だ。



手狭な町立図書館

南部地区にも

スクールバスを

川口 南北約9キロの細長い町で、北部方面だけにスクールバスを走らせている現状だ。

温暖化の影響からか、明らかに天候が変化しており、子供たちの通学に支障をきたしている。

スクールバスを増車、またはコミュニティバスを有効活用し、早朝、夕刻にスクールバスとしてピストン運行し、南部方面にも走らせる考えはないか。

バスの運行を

検討する

教育次長 本町の地形はかまぼこ型となっており、年々住宅開発が中学校より遠方となり、海の近くまで住宅化されている。その地区から通うためには、アップダウンの地形を乗り越え約2・6キロメートルの道のりを歩いている現状である。

距離や起伏の状態を勘案し、バスの運行も視野に入れながら検討する。



コミュニティバスを利用する中学生



川口 正己 議員



恩道 正博 議員

予防ワクチン費用の助成を実施せよ

来年度から10代前半の女子へ実施 町長

恩道 子宮頸がんは、ほぼ100%予防ができると言われている。厚生労働省は来年度予算の概算要求の特別枠で子宮頸がんワクチン接種の助成事業に150億円

を計上した。任意の予防ワクチン接種にかかる費用が約5万円と高額なことから、町独自の助成を早期に実施せよ。

町長 子宮頸がん予防対策を推進するために、10歳代の子宮頸がんワクチン接種と20歳からのがん検診受診が重要である。子宮頸がん予防ワクチン接種の助成は、来年度から10歳代前半の女子への費用の助成を行なっていきたい。

恩道 任意予防接種のヒブワクチンは助成対象となっているが、新たに小児用肺炎球菌ワクチンにも助成を実施せよ。

町長 今年度からは肺炎球菌ワクチンも加えて、年度途中からでも実施できるように検討したい。



健康がなによりの幸せ（高齢者スポーツ大会から）

町中心で

在宅医療体制をつくれ

恩道 高齢化の進展で長期の療養や介護を必要としている慢性疾患の患者さんやがん患者の終末期

ケアなど、在宅医療を担うニーズが高まっている。在宅医療の体制づくり及び整備は、まちづくりの一環として町が中心となつて進めよ。

体制の充実に

努める

町民福祉部長 金沢医科大学病院が、がん診療連携拠点病院として集学的がん治療や緩和ケアを行なっている。

介護保険法改正で、40歳以上の末期がんやがん以外の終末期、慢性期の場合でも介護保険の特定疾病に該当すれば在宅医療を受けることができる。町は、今後も県の医療計画に基づき、在宅医療連携体制がさらに充実できるように努める。

子宮頸がん予防ワクチン接種に対する助成金について藤井議員から関連質問がありました。



子宮頸がん予防セミナー



北川 悦子 議員

保育所に冷房を設置せよ

来年度から設置を検討 町長



向粟崎保育所に置かれた氷

北川 2007年町のホームページのよくある質問コーナーには「保育所にクーラーを設置することはできませんか？」とある。最近では地球温暖化で、暑い夏が続いている。

町長 今後も地球温暖化の影響で暑い夏が続くと予測される。民営の保育園では、冷房設備が完備され、現在では多くの家庭でも設置されている。町として、来年度から町立保育所への冷房の設置を検討していく。

中学校卒業まで

医療費助成を

北川 県内の乳幼児、児童医療費助成をみると中学校3年生まで入院通院助成が11市町、入院への助成は14市町、自己負担制限がないところが6市町となっている。

町長 行財政改革見直し検討事業になっている。町の実施内容の大きな利点は、就学前まで通院入院自己負担がないことである。

拡大を

前向きに検討

北川 就学援助にクラブ活動費、生徒会費、PTA会費が新たに追加された。反映されているか。



内灘中学校の運動会から

北川 上の子が小学校、中学校へ行っても保育料の軽減を図れ。

町民福祉部長 一人っ子以外の世帯のほとんどが減免の対象となることから現段階では大変難しい。

教育次長 参考所得金額を、わかりやすいものに工夫したい。

教育次長 保護者負担のない場合や学校間でバラつきがある。学校・部活動への支援としていく。

向栗崎1丁目の浸水対策を進める

地盤の高さを測定し 県と協議する

都市整備部長



夷藤 満 議員



大野川増水時の状況

夷藤 先日の台風4号で、大野川の増水により、県危機管理課が向栗崎地区の1762世帯に避難準備情報を発表し、2世帯4人が向栗崎公民館に自主避難をした。

都市整備部長 具体的には、高潮の際、大野川からの流入を防止する仕切り板の設置や道路のかさ上げ、排水ポンプの設置などいろいろな方策が考えられる。

今後、測量結果を踏まえ、住民や漁業関係者と相談し、早急に県と協議をしていく。

夷藤 目で見てわかる高齢者向けの災害マニュアルが必要だ。

町長 高齢者等への周知方策は、関係機関と連携していく。

産業会館の使用料はどうなっているのか

夷藤 産業会館は、現在3団体が使用している。町には設置条例がなく、行政財産使用料に関する条例を適用する施設にも入っていない。

使用している3団体からの使用料はどうなっているのか。

使用に応じ負担

都市整備部長 設置条例はないが、企業育成、産業の振興、発展に寄与することを目的としている。使用団体から使用料はもらっていないが、会館の光熱費は使用に応じ、それぞれ負担している。

夷藤 今後も今のままの形態で会館を貸していくのか。

都市整備部長 現在の使用形態であれば、このまま貸し出す。

消防長 自動火災報知設備の設置義務はなく、消火器、避難口の誘導標識は設置され、基準に合っている。

消防長 自動火災報知設備の設置義務はなく、消火器、避難口の誘導標識は設置され、基準に合っている。

夷藤 避難路、階段部分には、手すりなど安全策がとられているのか。

消防長 階段部分は高齢者に配慮された手すり等も設置されている。

夷藤 県道松任宇ノ気線、清湖大橋下に、横断歩道を設置せよ。

総務部長 今後も関係機関に粘り強く働きかけていく。



産業会館（向栗崎2丁目）

追跡

ありゃ～どうなったがいね～

「要援護者」支援プランを整備せよ

災害時における「要援護者」避難対策のための支援プランおよび伝達マニュアルを整備せよ。

【平成 20 年 3 月議会 藤井 良信 議員】

答 弁

整備を検討する

要援護者の避難訓練を実施し、支援班の設置、情報伝達整備を検討する。

その後

平成 22 年 6 月に整備

平成 21 年 2 月「内灘町災害時要援護者支援プラン」を策定した。

21 年度より町震災訓練にて訓練を実施。

支援班は、プランに基づき平常時と災害時においての組織体制を確立し、情報伝達は、本年 6 月に策定した「避難勧告等の判断・伝達マニュアル」において整備された。

雨水排水の根本的対策を

集中豪雨時、浸水被害が大根布地区を中心に発生する。雨水排水の根本的な対策を早急に進めよ。

【平成 19 年 9 月議会 恩道 正博 議員】

答 弁

最重要課題として早期完成を目指す

雨水浸透・貯留施設、調整池の整備は平成 23 年度完成予定となっている。町の最重要課題として前倒しで早期の完成を目指す。

その後

民間施設の設置費助成を検討

平成 21 年度末で大根布バイパス管と浸透施設 64 ケ所、貯留施設 2 ケ所の整備が完了。

今後は民間の浸透貯留施設の設置費助成の推進をはかり、浸透対策施設の整備を進める。

9月				8月				7月				6月	
29日	28日	27日	7日	30日	21日	20日	16日	15日	14日	8日	7日	29日	23日
兵	町	福	議	文	文	全	議	各	広	福	香	宮	新
庫	会	井	会	教	教	員	会	常	報	島	川	城	潟
多	区	県	運	福	福	協	運	任	対	県	島	加	湯
可	長	大	営	社	社	議	営	委	策	棚	三	美	沢
町	会	野	委	常	常	会	委	員	特	倉	木	町	町
議	の	市	員	任	任	・	員	会	別	町	町	議	議
会	タ	議	会	委	委	広	会	会	報	議	議	会	会
広	ウ	会	報	員	員	報	報	報	視	会	会	会	広
報	ン	広	報	会	会	報	報	報	察	広	新	新	報
視	ミ	報	報	全	全	視	視	視	受	報	潟	潟	視
察													

議会活動の記録

【6月定例会以降】

議会録画を
ご覧下さい

●町ホームページで、インターネット配信されています。

町議会Eメールアドレス gikai@town.uchinada.lg.jp

町ホームページ <http://www.town.uchinada.lg.jp>

ダンスサークル発足から10年

今回紹介する方は、アカシアの高嶋二郎さんです。



◆社交ダンス歴40年とお聞きしますが、始めた動機はどんなことですか。

○NHKで放映されていた「全日本選手権」での熾烈な闘いの中にも、華やかさと優雅さに感動し、ダンス教室のドアをたた

いたことを今もはっきりと記憶しています。解説者の「見るのも楽しいが、踊るともっと楽しい」の一言です。

◆社交ダンスの魅力は何ですか。

○ごく自然な表現の世界での演出が、人の心に豊かさを与えてくれます。生涯健康で踊り続けられたら、こんな幸せはないと感じています。

◆健康法からの社交ダンスについて教えてください。

○ドレスを着るなどの「おめかし」や異性と手をつないで踊ることの楽しい

気持ち、幸せな気持は、人の免疫力を高め、心の若返りになります。

また、素敵な音楽に合わせてステップを踏むことは姿勢を良くし、頭の体操にもなり、最近は生活習慣病や認知症予防にもなると言われています。

◆スポーツダンスサークルへの思い入れをお聞かせ下さい。

○サークルが発足して今年で10年になります。

地域コミュニティの形成を大切に、ダンス愛好者の友情の輪をもっと広



げていきたいと思っています。

◆町への要望はありますか。

○ダンスサークルの公共性をもっと理解され、活動できる場を開いてほしい。

インタビュー 藤井 良信

編集 後記

酷暑といわれた夏が過ぎ、五穀や果実が実る「秋」を、太陽暦でいう九月より迎えております。

秋声という言葉があります。それは風の音、水の音、鳥の鳴き声など……。そして音「秋」という季節を彩り、これは五蘊そのものであり、「人」もまた同様なのです。

皆様もご承知のように、社会情勢が紆余曲折している昨今、やはり原点は「人の声」が大切であり、眼横鼻直の理に今一度、振り返ることが大切ではないでしょうか。これらを常に意識しながら、今後も本誌の発行に努めていきます。

〔南 和彦〕

広報対策特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 北川 悦子 |
| 副委員長 | 南 和彦 |
| 委員 | 清水 文雄 |
| 委員 | 藤井 良信 |
| 委員 | 生田 勇人 |

連座制



議会を傍聴しませんか

次の議会は12月に開催されます。傍聴の受付は、当日3階のエレベーター横で行なっています。

議会事務局 TEL 286-6715

1部あたりの単価は29.99円です。

リサイクルペーパーを使用しています。

